

特別見学通路から見える安全対策

特別公開第2弾で通行する高さ約6mの歩行者専用通路からは、地震で被災した石垣や重要文化財建造物の安全対策を見ることができます。

数寄屋丸五階櫓台石垣

数寄屋丸二階御広間南面石垣

東竹の丸重要文化財櫓群



被災後：石垣の崩落（2016年4月20日）



被災後：石垣の崩落（2016年4月20日）



被災後：櫓本体の傾き（2016年4月20日）



対策：樹脂製ネットで覆う
（2020年3月26日）



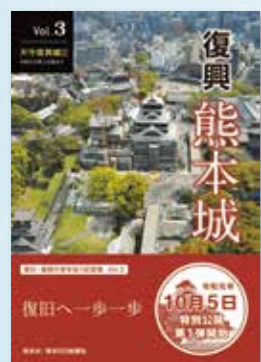
対策：崩落面をモルタルで吹き付け
（2020年3月26日）



対策：倒壊防止（ワイヤとおもしで固定）
（2020年3月26日）

※写真の日付は撮影日

『復興熊本城Vol3 天守復興編Ⅱ』 書店にて発売中です！



平成28年(2016)の熊本地震によって甚大な被害を受けた熊本城の記録集を、定期的に発行します。Vol3では、昭和35年(1960)の天守再建工事から落成までの様子や、昭和・平成の鯨瓦の製作、令和元年度上半期までの復旧の様子などを収録しました。現在、熊本県内の書店などで発売しています。Vol4は、2020年12月刊行予定です。

熊本県立美術館 本館（7月18日～9月6日）

江戸の動物絵大集合！猿描き狙仙三兄弟
—鶏の若冲、カエルの奉時も—

迫真的な猿の絵で名高い江戸時代の絵師・森狙仙（1747?～1821）と、その兄の陽信や周峰の作品を中心に、江戸時代の動物画を紹介します。



森狙仙筆《桃猿図》大阪歴史博物館蔵

- ◆その他上半期の展覧会
- ・細川忠利と三宅藤兵衛（7月5日まで開催）
- ・大集合！肥後のわざもん／やきもん／洋もん！（7月5日まで開催）
- ・二の丸動植物園（7月18日～9月22日）

熊本市中央区二の丸2番
096-352-2111
開館時間など詳細は
ホームページまで



熊本城ミュージアム わくわく座



新・熊本城VR(バーチャルリアリティ) 映像が特別公開第2弾にあわせて登場！ 熊本城特別見学通路 見どころガイド

わくわく座一押しコンテンツ、熊本城VRに新作の映像が登場。江戸時代の熊本城の映像に加え、熊本城特別公開第2弾で新しく公開される特別見学通路の見どころを、最新の熊本城VR映像とスタッフのライブ解説で紹介いたします。お城見学の前にぜひご覧ください。

期日：毎日（特別公開第2弾にあわせて公開開始）
料金：入館料(大人300円、子ども(小・中学生)100円)
お得：共通入園券
2館共通入園券(熊本城・わくわく座)
大人600円、子ども(小・中学生)200円
3館共通入園券(熊本城・わくわく座・熊本博物館)
大人900円、子ども(小・中学生)300円

熊本市中央区二の丸1-1
096-288-5600
開館時間など詳細は
ホームページまで



熊本博物館



コウガソウ全身骨格



北側玄関

「未来へつなぐ熊本の記憶」を新たなテーマとして常設展示が一新され、展示物が増えました。中でも「才園(さいそん)古墳出土品」や、熊本城の天守閣内から移築された旧細川藩主が参勤交代で使った御座船「細川家舟屋形」などの国指定重要文化財は必見。

熊本市中央区古町3-2
096-324-3500
開館時間など詳細は
ホームページまで



熊本城

～復興に向けて～



令和2年 春夏号



※施設の臨時休館や開催を変更する場合がございます。詳細はお出かけ前にご確認ください。

■ 天守閣

大天守の外観工事としては最後になっていた附櫓の工事も終了しました。現在、内装工事等を行なっています。小天守は鯨瓦の復旧工事が2019年11月に終了し、4階から外観復旧工事を行なっています。天守閣全体の復旧完了は2021年春の予定です。



小天守仮設屋根の撤去 (2019年11月7日)



小天守鯨瓦設置完了 (2019年11月25日)



附櫓の漆喰仕上げ作業 (2019年12月16日)



附櫓外観完成 (2020年1月9日)

■ 飯田丸五階櫓

五階櫓台石垣の解体後2019年6月から9月に、石垣基底部の発掘調査を行ないました。その結果、五階櫓台石垣がどのように築かれたのかがわかりました。また、江戸時代の石組溝や、刻印の発見もありました。これらの成果は、石垣の復旧に活かされます。



櫓台石垣の基底部を確認 (2019年7月8日)



埋まっていた築石の刻印 (2019年7月8日)



石組溝を確認 (2019年7月31日)

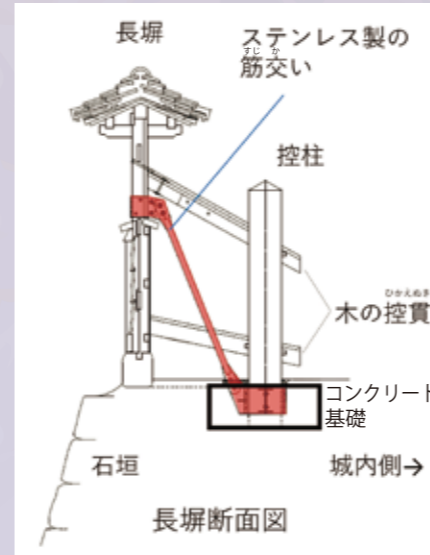


発掘調査風景 (2019年9月2日)

■ 長堀 (国指定重要文化財)

2019年度に基礎となる控柱*の補修や、木工事を行ないました。今回の工事では強風などによる影響を考え、ステンレス製の筋交いとコンクリート基礎で補強を行ないました。現在は屋根瓦工事や土壁などの左官工事を行なっています。土壁については荒壁・むら直し・中塗り・漆喰塗りと何層も塗り重ねて仕上げていきます。2021年1月の完成を目指しています。

*控柱 (ひかえばしら) : 堀本体を後ろで支える柱



筋交い設置作業 (2019年8月8日)



土壁塗り作業 (2020年4月2日)



瓦葺き作業 (2020年4月13日)

■ 平櫓 (国指定重要文化財)

櫓本体の解体工事は、2019年12月に終了しました。回収した建築部材は、倉庫に保管しています。現地には、石垣崩落防止用の鉄骨が残されています。



建築部材解体作業 (2019年12月26日)



櫓本体の解体が終了した平櫓 (2020年1月29日)

※写真の日付は撮影日

熊本地震における熊本城の被災状況

熊本城全体の石垣 : 973面、約79,000㎡

平成28年4月16日 1時25分「本震 M7.3」

※前震での被害を含む

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	13棟	倒壊2棟、一部倒壊3棟。他は屋根・壁破損など
復元建造物	20棟	倒壊5棟。他は下部石垣崩壊、屋根・壁破損など
石垣	崩落・膨らみ・緩み 517面 (うち崩落50箇所、229面)	約23,600㎡ (全体の29.9%) (うち崩落約8,200㎡ (全体の10.3%))
地盤	陥没・地割れ70箇所	約12,345㎡
便益施設・管理施設	26棟	屋根・壁破損など

